

S-TEAM 教育推進事業 「STEAM」 推進プロジェクト
外部連携支援事業（学校活用型）実施報告書

学校名	北海道稚内高等学校
実施日時	令和6年3月19日（火） 15:45～17:15
講師	<p>（所属） 平岸ハイヤー株式会社</p> <p>（職・氏名） 代表取締役社長 神代 晃 嗣</p> <p>（連絡先電話） 011-831-8115</p> <p>（電子メール） nexttaxi.daruma@gmail.com</p>
実施概要	<p>1 ねらい</p> <p>平岸ハイヤー社長として「平岸に住む理由を豊かにする」ことを目的とした BAR Apple Lodge、平岸マルシェ、Daruma Hall の運営だけでなく、夏は豊平川を見ながらの「川見」を札幌発祥の文化にするための活動、札幌で活躍する人を発掘、表彰、応援することを目的としたサッポロスマイルアワードなど、広く地域のために活動している神代氏を講師に迎え、「稚内に住む理由を豊かにする」という発想に気付き、自分事として地域課題の解決に向けてがんばろうとする生徒の意欲を高める。</p> <p>2 日程</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 15:45～17:05 講演会 ・ 17:05～17:15 質疑応答 <p>3 講義、実習等の概要（講師からの主なコメント）</p> <p>(1) 平岸ハイヤー株式会社について</p> <p>仕事を通して、地域に貢献している。会社を経営し、平岸を住みたい町ランキング1位にすること、札幌を世界一の観光都市にすることが目標である。</p> <p>(2) Bar Apple Lodge について</p> <p>国の有形文化財を購入し、そこでバーを経営している。地域の人々から愛される場所にしたい。また、平岸以外に住んでいる人に来てもらって、こんな場所があると思ってもらいたい。</p> <p>(3) Daruma Hall について</p> <p>昔のタクシー格納庫を改装し、さまざまなイベントを実施できるホールを作った。このホールで子どもたちに文化・芸術を見てもらい、芸術で子どもたちの可能性を広げたい。</p> <p>(4) 平岸マルシェについて</p> <p>会社敷地内にて、さまざまなジャンルのお店が出店する平岸マルシェを開催している。豊平区には北海学園大学があり、学生と協力して運営</p>

している。現在は学生が主体となり企画、運営をしており、学生のスマートフォンビジネスが成功している。地域の中小企業等と学校がコラボレーションすることで、より地域を盛り上げることができる。

(5) 平岸ダルマップについて

従業員、学生の協力のもとで、平岸の飲食店等を紹介している。地域の企業を紹介することによって、地域からの信頼が得られる。地域からの信頼が熱いタクシー会社を目指している。

(6) 株式会社川見について

中心部に自然豊かな川がある 200 万人都市は中々ない。この資源を使い、何かできないのかを考え、豊平川河川敷沿いにて行うイベントを考案した。前例がないため、許可を得ることに苦労したが、諦めず交渉を進めた結果、イベントを開催することが決定した。自然と人が集まる場所の創出を目指した。

(7) 高校生へのメッセージ

自分の地元には何があるのだろうかという視点をもつことが必要である。また、人に迷惑をかけない範囲で、自分の人生は自分で決めることが必要となる。自分の人生の選択肢を増やすために、勉強を続けたらよい。今のうちにどのような人生を送りたいのか考えておく必要がある。



4 成果（生徒・教員の変容及びねらいの達成状況等）

(1) 生徒アンケートから

- ・何気ない日常の中にも、まだ生かしていないものやこのままではもったいないものが多いのだなと実感させられ、同時にそれらを毎日探して生きるのはとても楽しそうだなと感じました。私も何かを企画したり、探究したりする活動はとても好きなので、今回の講演を機に全力で取り組みたいと思います。
- ・使われなくなった場所や国の有形文化財をもったいないと思い、それらを新しい場所として活用し、さらにそこへエンタメ要素を追加することにより、平岸を一番面白い街にしたいという目標に近づくために頑張っていて、人生は一度きりなので、私は自分のやりたいことをいっぱい試していきたいと思いました。
- ・普段聞くことが出来ない経営者のお話や考えを聞ける貴重な体験だっ

た。最後に言っていた「他のものなどの可能性を信じること」、「何かのためにあきらめないこと」などを参考にしていきたい。

- ・神代さんの貴重なお話（成功談や体験談）をお聞きし、人との繋がり、諦めないことの大事さを改めて学べた。進路がまだ定まっていなく迷い続けている身なので、「人生でどれだけ多くの選択肢をもつことができるかどうか」という言葉が特に響いた。このお話を今後に生かしていきたいと感じた。
- ・「やっている仕事そのもので利益を出しながら地域活性化をする」という考え方が自分の考える企業イメージと大きく異なり、こんな大人がいて、こんな企業があるんだと驚きました。選択肢、可能性を増やすこと、守ること、誰かのために使命感をもって続けていくこと、これらを実際に形にしてきた神代社長がかっこいいなと心から思います。初めは夢のような、あくまで理想論だと感じていましたが、神代社長が行われてきた数々の実績から、夢を現実にできる大人がいるんだ、と大きな刺激を受けました。この貴重な講演を聞いたことで、一步踏み出してみようという勇気をもらったり、人脈や経験づくりを大事にしようという心持ちになったり、私自身のこれからの選択肢も増えました。本当に、素晴らしい機会を得られたと思います。ありがとうございました。

(2) 教職員アンケートから

- ・事前に資料をいただいていたので、平岸ハイヤーさんの取組は理解できました。平岸や札幌に対する熱い思いが分かったので、さらに取組過程の視点や見方・考え方を詳しく知りたいと思いました。「何かの、誰かの可能性を信じることができる人間になること」というのが、私の課題なのだろうと心に刺さりました。また、講演終了後の校長先生の話聞いていて、少しマーケティングの勉強のおさらいでもはじめてみようと感じました。本日はありがとうございました。
- ・どの企画でも地元の学生を巻き込んで実施している点が素晴らしいと思いました。私たちも稚内高校の生徒にできることを考えなければならぬと感じました。
- ・感心させられる内容ばかりでした。今回のお話を踏まえ、今後、自分が教員として稚内の地でどう形にできるのかを具体にしていきたいと思います。地域とどうつながって、子どもたちに何が還元できるのか、これからも模索していきたいです。